

講座 26	水墨画の魅力と歴史－「筆と墨の文化」のなかで				
	【定員】100名		【受講料】2年会員 11,150円 1年会員 12,550円 聴講生 16,730円		
	【美術】美術 I		【時間】 毎回10時30分～12時00分（計10回）		
概要	江戸時代までの1200年ほどの間、人々は文字も絵も筆と墨でかいてきました。そこで培われた技と美意識が詰まっているのが水墨画です。この講座では、多彩な水墨画の表現を見ながらその魅力と歴史について、世界文化遺産への登録を目指す書道との関係も交えてお話しします。				
回	月/日(曜)	会 場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/29(月)	高津市民館 大会議室	水墨画とはなにか―「筆と墨」の魅力	横浜美術大学客員教授 『國華』編輯委員 島尾 新	
2	10/6(月)		躍動する筆と墨―中国の水墨画略史		
3	10/27(月)		「鳥獣戯画」とやまと絵のなかの水墨表現		
4	11/10(月)		水墨画と「禅」		
5	12/1(月)		雪舟・雪村と室町時代の水墨画		
6	12/8(月)		狩野元信・永徳と大画面の水墨画		
7	1/5(月)		長谷川等伯・狩野探幽と余白の美学		
8	1/26(月)		若冲・蕭白・応挙―百花繚乱の18世紀		
9	2/9(月)		西洋との出会い―近代の水墨表現		
10	3/2(月)		水墨画の現在と未来―現代の書道も見ながら		